

今回持参したウクライナ製線量計
MKS-05 "Terra-P+" Dosimeter-Radiometer
Manufacturer: Sparing-Vist Center

使用者：若林 一平
使用日時：2011年11月11日～13日
使用場所：福島県および一部東京

記録：
一部、再生の会の Mr. Gamma（岸崎さん使用）との対照測定を実施した。
特に断りの無いときは地上高～1m

11日

線量計の電源 ON 時にガンマ線のアラーム値は $0.30 \mu\text{Sv/h}$ に自動設定されている。
(ウクライナ放射線安全基準)

12時ころ 福島駅を車で出発
12時15分 霊山に向かう車中でアラーム鳴る (福島市内と推定) $0.40 \mu\text{Sv/h}$
13時8分 トマト掛田店前車中 $0.36 \mu\text{Sv/h}$
13時20分 山津見神社前 $1.27 \mu\text{Sv/h}$
16時30分 宗夫氏宅前 $1.34 \mu\text{Sv/h}$
16時40分 山津見神社参道脇駐車場の木の下 $3.31 \mu\text{Sv/h}$
17時45分 紅彩館本館前車中 $0.74 \mu\text{Sv/h}$

12日

7時50分 紅彩館本館前車中 $1.10 \mu\text{Sv/h}$
8時40分 宗夫氏宅室内 $0.48 \mu\text{Sv/h}$
14時50分 松川仮設住宅玄関前 $0.25 \mu\text{Sv/h}$ (アラーム値以下)

13日

8時50分 紅彩館出発し峠に上る車中 $1.34 \mu\text{Sv/h}$
8時53分 峠を下り飯館村に入る車中 $1.09 \mu\text{Sv/h}$
10時05分 山津見神社前車中 $1.71 \mu\text{Sv/h}$
10時25分 惑星研究所天体ドーム前 $2.86 \mu\text{Sv/h}$
10時46分 研究所宿舍構内10m入った $3.01 \mu\text{Sv/h}$ 落ち葉の上 $3.75 \mu\text{Sv/h}$
10時55分 「水源かん養保安林」看板前の落ち葉の上 $5.02 \mu\text{Sv/h}$ <==> Mr.Gamma
 $5.900 \mu\text{Sv/h}$

11 時 30～35 分 宗夫氏の堆肥蓄積場内

圧縮した牧草 9.42 μ Sv/h

落ち葉の袋の山 (手前) 18.03 落ち葉の袋の山 (山の中心近く) 24.60 μ Sv/h 落ち葉の袋 (単体) 5.51 μ Sv/h

堆肥場から～50m 離れると 2.40 μ Sv/h

11 時 50 分 菅野永一氏宅裏山 落ち葉をはがした森 0.82 μ Sv/h 地面で 0.99 μ Sv/h
<==> Mr. Gamma 1.412 μ Sv/h

12 時 20 分 宗夫氏宅雨樋下の土砂の上 8.03 μ Sv/h <==> Mr. Gamma 7.549 μ Sv/h

14 時 10 分 福島市古関裕而記念館前車中 0.24 μ Sv/h

16 時 45 分 山手線品川駅停車中 0.09 μ Sv/h

今回の結論

ウクライナの Terra-P+ (～4 万円)。

Mr. Gamma と比較して「市民用」としては妥当な商品と言える。データの傾向はほぼ一致していた。

ちなみに Terra-P+はガンマー線蓄積量とベータ線の測定ができる。

福島では「仮設住宅」のみウクライナのアラームが鳴らなかった。

但し上記データそのものは Terra-P+初心者＝若林による使用というバイアスあり。